

# 令和元年度 森林環境譲与税の使途に関する事項の公表

京 都 府  
京丹波町

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第3項の規定により、令和元年度の森林環境譲与税の使途に関する事項を公表します。

令和2年10月20日

## 1 総括表

### (1) 使途別事業一覧

区 分	使途・目的	事業数	事業名	事業総額
森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	1	森林経営管理事業	4,272 千円
	その他森林整備事業			千円
森林整備の促進	人材の育成及び確保			千円
	森林の有する公益的機能に関する普及啓発			千円
	木材利用の促進			千円
	その他森林整備の促進に関する事業			千円
	基金積立	1	京丹波町森林環境譲与税基金積立金	9,605 千円
令和元年度に活用した森林環境譲与税の総額				13,877 千円
(参考) 令和元年度に譲与された森林環境譲与税額				13,877 千円
(参考) 令和元年度に基金から取り崩した額				0 千円

(事業費は四捨五入により千円単位で記載する)

(2) 森林環境譲与税の活用による事業評価（総括）

【ワンフレーズ】  
 税の活用により、森林経営管理法に基づき令和2年度から実施する意向調査対象森林の特定に繋がった。

【詳細】  
 本町は森林が83%を占め、そのうち人工林は40%で3分の2は標準伐期齢を迎えている。一部の森林所有者は、不在村化や世代交代、木材価格の低迷により所有森林への関心が低くなり、整備が行われず荒廃が進むという状況になりつつある。このような現状のなかで、本年度は森林環境譲与税を活用し、森林経営管理事業を円滑に実施していくための臨時職員の雇用、現地確認用車両の購入、境界明確化等に伴う測量器具の購入を行った。また、経営管理意向調査対象森林を特定する為、過去10年の施業履歴を把握しシステム入力業務を行った。これらにより、令和2年度から意向調査等の事業を実施することが可能となった。  
 なお残額については、令和2年度以降の森林経営管理事業に使用するため、基金に積み立てた。

2 各事業の実績

事業名	事業総額（千円）			当年度の基金への積立額（千円）	事業内容	実績
	うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理事業	4,272	4,272	0	0	臨時職員1名雇用。市町村管理森林整備のための測量器具、現地確認用車両の購入。過去の施業履歴の把握にかかるシステム化業務。	臨時職員1名 過去10年の施業履歴把握 2,468ha 測量器具 一式 現場確認用車両 1台
京丹波町森林環境譲与税基金積立金	9,605	9,605	0	0	9,605	計画的に実施する森林経営管理事業に係る境界明確化や市町村管理森林の整備に備えた積立